

## 第2号議案 平成14年度(SAJ15年度)執行方針(案)

### 基本方針(案)

終了しました平成13年度各行事への協会、会員の皆様のご理解ご協力に、執行部一同心より感謝を申し上げますと共に、平成14年度の執行方針を申し上げます。

昨年同様、不況及びスポーツ離れの影響で一段と厳しい執行が予想されます。平成14年度事業は会員の減少にとどまらず、専門員等SAK役員の中にも行事への参加が難しくなるような人も増えてくることが予想され、執行部一同、一段と気を引き締めて執行に望む考えであります。

昨年お約束した各種登録、管理事務の効率化等々について先は見えてきたものの、未だ道半ばであり本年度も一層の努力を重ねていきたいと考えております。

また、一昨年来SAJ登録会員証の発行の遅れは目に余るものがあり、SAJに対し強く抗議を申し入れておりますが、来シーズンも改善される確証もなく、本連盟も非常に困惑している状況の中で、会員の皆様には会員証の未着による不利益が発生しないように心がけて参ります。尚、SAJ登録と同時に行うSAJ傷害保険に関しましては、本年度より受付を中止させていただきます。

昨年来マスメディアへの働きかけ等々の努力を重ねてまいりましたが、本年度も一層の努力により会員の獲得、より開かれた組織への発展を目指して参りますので、各協会、各クラブの皆様におかれましてもご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本年度我々執行部が最も努力しなければならないことは会員の減少に歯止めをかける事だと思われれます。そのためには競技、教育各本部のテリトリーに拘らず連盟あげて普及活動を行って行かなければならないと考えます。我々がやっている行事はこの20年来ほぼ変わっておりません。時代の流れが激しい今日、長年にわたる行事の踏襲だけではSAKの運営は立ち行かなくなると思います。

本年度よりポイントに拘らないオープンな競技会、マスターズ競技会、これらのシリーズ化により従来の競技会への参加に二の足を踏んでいた新たな競技層の発掘をし、また、教育本部中心に、既に準指導員、指導員の資格を取得したものの、次なる目的を失っている会員へ競技会への参加の働きかけを行って各会員の活性化に繋がりたいと考えております。

教育本部においても指導員研修会、準指検定会だけの教育本部では会員の減少に歯止めを掛けられる筈もありません。協会、クラブの皆様のご協力の下、一級合格者の増加、新しい行事への参加者を掘り起こして会員の増加に繋げて行きたいと考えております。13年度シーズンより開催しました千葉、静岡両県スキー連盟との共催事業もその一環であります。

以上、基本的には前年度の踏襲が中心ではありますが、執行部一同、サービスの向上、新規会員の獲得に努力して参りますので、14年度シーズンも昨シーズン同様、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。